



【加西市宇仁郷のコスモス畑】

撮影者 地域医療連携室

都倉 昇

加西市の宇仁郷(うにごう)は、加東市に隣接し6町で構成されている静かな農村地域です。“ふるさとの再生”に取り組まれている活動の一端として、休耕田・県道の路肩などにコスモスが植えられ見頃を迎えていました。毎年10月に「コスモス祭り」が開催され、宇仁の里・花畑街道としてウォーキングコースも設けられています。また、当地は1300年前から(西暦715年)朝廷の命により編纂された播磨国風土記に、賀毛郡雲潤里(うるみのさと)として登場しています。

病院移転後一周年を迎えて	院長 栗栖 茂	2
障がい者・高齢者の「摂食・嚥下、 口腔ケア支援講座」を開催して	地域医療連携室 安井 啓子	3
新しい病院でのプール活動	療育指導室 主任保育士 久保田千恵	3
兵庫あおの緩和ケア市民公開講座を開催して	地域医療連携室 安井 啓子	4
放射線科の紹介	診療放射線技師長 中尾 博司	5
外来診察・検査担当表		6

病院移転後一周年を迎えて

院長 ^{くりす}栗栖 ^{しげる}茂

昨年8月30日に現在の新しい病院に移転してきてから一周年を迎えました。月日の流れは早いもので、本当にあっという間に一年が過ぎたような気がします。

新病院への移転計画は、当初の予定では気候の良い春頃に栗田橋を利用した最短直線ルートで行うべく計画されていたわけですが、東日本大震災の影響による諸事情のための建築計画の遅れ、2013年秋の台風18号による栗田橋損傷、長期通行止めなどといった予期せぬ障害が次々と発生したことによって、酷暑の中、複雑かつ長距離に及ぶ迂回ルート、という困難な状況の中での移転を敢行せざるを得ない事態となったのでした。しかし全職員が一丸となつての綿密な移転計画立案、大学や機構諸病院、学校からの人的応援、消防、警察等諸機関の多大なるご助力などにより、まさに案ずるより産むが易いという言葉の通り、予定していたタイムスケジュールから分単位の遅れもなく、もちろん移送中の事故も皆無で、完璧ともいえる移転作業を完遂することができたのでした。移転に携わった全職員、応援医療スタッフ、ボランティアの方々、消防、警察の方々には改めて深く御礼申し上げます。

新しい病院は最新の設備と広々としたスペースを有し、患者様にとっても働く者にとっても、以前の老朽化した病院とは比べものにならないくらい快適な環境となっています。働きやすい病院ということもあって、当院にとって長年の懸案であった医療スタッフの充足という部分に関してもたい

へん希望がもてる状況となりつつあり、標準医師数100%が初めて達成できたこと、看護部門も上位基準の取得に向かって一層の充実を図りつつあることをはじめとして、他のスタッフを含めて一層の医療、福祉サービスの向上を図りつつあり、具体的な例として、重心部門では、より重症度の高い年齢の低い方を以前より積極的に受け入れることができるようになりつつあります。一般診療部門でも、旧病院では著しく病床稼働率が低迷していたわけですが、現在では80%程度を保ちつつあり、北播磨総合医療センターとの連携をはじめとして地域における病病、病診連携を一層進めつつあるところです。

今後医療、福祉の分野における経済環境は一層厳しさを増してゆくことが確実視されており、さしあたっては平成30年度の医療・福祉大改訂がどのようなものとなるか極めて憂慮される所ではあります。しかしセーフティネットとしての重心部門は当然社会的にきわめて重要性の高い分野ですし、福祉との連携を含めた地域医療の分野に関しても当院には他院に比して非常に強みとなり得る点があります。今後とも当院の特徴を大いに活用し、医療、福祉の制度が不当に後退することがないよう重症心身障がい児(者)守る会様とも手を携えて、一層当院の社会的責任を果たしていけるよう、今後とも頑張っていきたいと決意する次第です。関係諸方面におかれましては、何卒一層よろしくご支援ご指導の程お願い申し上げます。

障がい者・高齢者の「摂食・嚥下、口腔ケア支援講座」を開催して

地域医療連携室 やすい けいこ 安井 啓子

平成28年6月23日(木)第22回障がい者・高齢者の「摂食・嚥下、口腔ケア支援講座」を開催しました。この講座が開催されるようになって11年目となります。地域の医院、病院、事業所、施設等から毎回多くの方の参加を頂いています。今回は院外から47名、院内20名の計67名でした。

毎回初めての参加という方が多く、当院の支援講座で摂食・嚥下、口腔ケアについての知識を高めようとしていただいていることから、当院の役割としての大きさを実感しています。



今回は、「日々の仕事の中でできる摂食・嚥下への援助について」藤岡言語聴覚士に講演をしていただき、院内摂食嚥下認定看護師の支援を受け、正しいとろみの作り方、作ったとろみ茶を実際に食べてみる

という演習を行いました。参加者からは、
・症例や内視鏡の画像を用いた説明がわかり易かった。



- ・とろみの正しい作り方がよくわかった。
 - ・とろみのついたお茶を食べてみて、美味しくないことや口腔内に残留するので後の口腔ケアの大切さがわかった。
 - ・姿勢や一口量が大事だとわかった。
- 等、参考になり自施設で活かしたいという意見が多く聞かれました。

また、院内で摂食・嚥下のチームを作って活動したい。当院への希望としてNHOとして情報発信を願いたいとの意見も頂きました。

今後も研修会を通して、地域の方々との交流を図り、医療と介護が連携し、お互いが共に向上していけるようこの活動を続けていきたいと思っています。

新しい病院でのプール活動

療育指導室 主任保育士 くほたちえ 久保田千恵

昨年8月に兵庫あおの病院としてこの地に移転し、大きく変化した点として挙げられることは、屋内プールができたことです。旧：兵庫青野原病院にもプールがありましたが、屋外だったため、夏季のみプール活動を行って来ました。しかも、天候にも左右され雨が降ると勿論中止、晴れていても気温が低いとこれまた中止となることもし

ばしばありました。しかし屋内のプールでは季節、天候にとらわれず、プール活動が行えることとなり、今年度6月よりプール活動を開始しました。まずは安全面に最も配慮し、重心病棟長期入院の利用者、通所事業「あおの」の利用者の方々からプール活動の対象者を決めさせていただきました。

ある利用者は泳ぐことを目標に、顔つけ、

蹴伸び、バタ足などができるように。またある利用者はリラクゼーションを目標に、浮き輪や支援者に支えられて水中で体幹、



上下肢がリラックスして伸展することができるようになど、それぞれの目標に応じてプール活動を行っています。どの対象者もプール活動を楽しまれ、回数を追うごとに笑顔が多く見られています。年間通じてプールが使用できるようになりましたが、冬季は風邪、インフルエンザなどの感染症の心配がありますので、プール活動は休止することとして、10月末までをプール期

間としています。

今年度は対象者も絞らせていただき、少人数から始めることとなりましたが、今年度のプール活動についてまとめを行い、来年度に向けて人数、回数など検討していきたいと考えています。少しでも多くの方々にプール活動を体験していただけるように、またプール活動に参加できない方々には、より楽しい活動を体験していただけるように、日々の療育活動の充実も図っていきたいと考えています。



兵庫あおの緩和ケア市民公開講座を開催して

平成28年7月28日(木)に第4回兵庫あおの緩和ケア市民公開講座を開催しました。参加者は一般の方、北播磨地域医療連携施設で従事されている専門職の方々、当院の職員を含め55名の参加がありました。

講師は姫路市医師会地域医療連携室長・広報課長、認定看護管理者 成定 啓子先生をお招きし、「元気な時こそ医療のはなし—生きるための逝き方—」と題して講演をしていただきました。講演内容は自分らしい暮らしのために医療と介護を活用する、自分らしい人生の終結、どのように旅立つのかを設計する、自分が望む医療と家族が望む医療を話しあっておくことが大事であ

地域医療連携室 やすい けいこ 安井 啓子

るなど自分がどう生きるかについて、事例を通してお話して頂きました。

参加者のアンケートでは、「高齢の両親を抱え日々どのように支えていったらいいのか、最後の看取りについて等不安なことがありましたが、お話しを聞いて勇気が湧いてきました」「とても心にしみる話でした」等の感想を頂き、次の講演会も参加したい方が多数おられ、有意義な時間となったことを大変嬉しく思いました。お忙しい中、ご参加頂いた皆様に感謝致します。

次回は平成29年7月に開催を予定しています。多数のご参加をお待ちしております。

放射線科の紹介

当放射線科は新病院1階西側に面しており、外来診察室と反対側、エレベータ横に位置して、途中の開放的な広い受付窓口が目印です。放射線技師は3名在籍しています。

所有している医療機器は

- ・ X線CT装置(身体が輪切りのような画像などで表現します)
- ・ X線TV装置(胃の検査などに使用しています)
- ・ 一般撮影装置(「息を吸ってとめます」でおなじみの胸部検診にも使用します)
- ・ 超音波式骨密度測定装置(「足のかかと」で骨年齢をしらべます)
- ・ 歯科撮影装置(入院されている重症心身障がい児・者の歯の撮影に使用します)

等です。

検査は迅速に対応し、長時間お待たせするようなことはありません。

診療放射線技師長 なかお ひろし 中尾 博司

当院の特色の一つでもある重症心身障がい児(者)の検査や、外来、入院時、短期入所時の検査においても、担当スタッフと共に安全に実施するよう心がけております。

CT検査などの診断に関しては、日本医学放射線学会認定の診断専門医による読影サービス会社と連携していますのでご安心ください。

当院では、地域の医療機関との連携と、地域医療の向上を目的とし、当院が保有する『マルチスライスCT』の共同利用を推進しています。患者様、各医療機関の先生方、それぞれにメリットがある医療機器の共同利用についての詳細は、お気軽にお問い合わせ下さい。

また、絆ネットによる北播磨地域の一層の医療連携強化の一員としても参画しています。

X線CT装置



X線TV装置

兵庫あおの病院 診察・検査担当表

診 療 担 当 表

平成28年10月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土	日	
内 科	午前	診察1	八幡	中原	陣内	浅香			
		診察2	義富	石田(純)	松山	中原	石田(純)		
		診察3	吉田/玉田	中山*	義富*	義富*	中山*		
	午後		義富*	中山*	義富*	義富*			
外 科		診察5	植田	平井 _二	栗栖*	平井 _二	栗栖*		
リハビリテーション科		診察5	植田	平井 _二	栗栖	平井 _二	栗栖		
整 形 外 科		診察6		平井和* (隔週)	平井和* (隔週)		藤岡 (第2・4週) 午後交代制 (毎週)	山本◇ (不定期)	
緩和ケア科		診察5		梅木*					
小 児 科		診察7				木藤			
		入院 患者 様 対 象			永井	富井 瑞木 (交替制)	金田 新田 (交替制)		
							竹内 久野 (第2・4週)		
				荒川 (毎月1回)	加藤 (毎月1回) 益田 (毎月1回)		竹中 (毎月第4週)		
					吉本				
歯 科			古土井			明石			
専 門 外 来	心身症外来					郷間◇			
	呼吸器・血管外科		平井 _二 *		平井 _二 *				
	大腸外来				梅木*				
	胆膵・胃外来			栗栖*		栗栖*			

診療受付は平日の午前8:30~午前11:30です。

※印の外来診療は予約診療です。予約を取り、予約票をお持ち下さい。ただし、初診・急病の場合は予約なしでも、診察を行っています。

◇印の外来診療は予約患者様のみの診察となります。(初診の方の診察は行っていません)

診療担当医が都合により変更となる場合がありますが、ご了承下さい。

患者様の状態により、診察の順番が前後する場合がありますがご了承下さい。

整形外科診察日には、リハビリテーション科の診察は休診となりますが、リハビリテーション科患者様の診察も行います。

検 査 担 当 表

検査内容	月	火	水	木	金
胃カメラ(午前)	栗栖	梅木		服部	梅木
大腸ファイバー(午後)				服部	
胆膵(ERCP)(午後)			栗栖		
胃透視・注腸透視(午前)	診 療 放 射 線 技 師				
腹部エコー(午前)	○	○	○	○	○
頸部エコー(午前)	臨 床 検 査 技 師				
心エコー(午前9:00~)	○	○	○	○	○

※検査はすべて予約診療です。

兵庫あおの病院 電話 0794-62-5533